

# ～被災地の復興とその先を見据え、 今何をすべきかを考える。～



復興とその先の未来を考えたとき、NPOが地域に果たす役割は何でしょうか。

このフォーラムでは三陸地域の未来をテーマに、自治体の枠にとらわれない多様なセクターの参加のもと、協働による地域づくりとは何かを改めて学び、行政・NPO・企業など地域の未来を担う主体がつながることでできる、地域の枠を超えた連携や協働による課題解決の仕組みづくりを考えます。

## ●日時・会場

2017年 **11月22日** (水) 13:00～17:30 (開場12:30)

定員 **50名**  
参加費無料

釜石市情報交流センター／釜石PIT (岩手県釜石市大町1丁目1番10)

### 1 13:10～14:00 対談「復興のその先を見据えた地域について」

**武隈 義一 氏**

(復興庁ボランティア・公益的民間連携班参事官)

×

**鹿野 順一 氏**

(特定非営利活動法人アットマーククリアスNPOサポートセンター)

### 2 14:00～14:45 キーノートスピーチ

テーマ

「10年後の人の暮らし」



公益社団法人  
中越防災安全推進機構

**稲垣 文彦 氏**

テーマ

「10年後の地域の担い手」



社会福祉法人  
黒部市社会福祉協議会

**小柴 徳明 氏**

テーマ

「10年後の協働の姿」



特定非営利活動法人  
ふくおかNPOセンター

**古賀 桃子 氏**

### 3 15:00～17:00 分科会

キーノートスピーチのテーマごとに少人数に分かれ、三陸地域の課題の共有と10年後の地域のあるべき姿、仕組みや事業のアイデアを考えます。

## ●申込方法 裏面の参加申込書にご記入の上、最寄りの申込先へご連絡ください。

主催：特定非営利活動法人アットマーククリアスNPOサポートセンター／大船渡市市民活動支援センター  
特定非営利活動法人陸前高田まちづくり協働センター／特定非営利活動法人いわて連携復興センター  
後援：釜石市、大船渡市、陸前高田市

この事業はタケダ薬品×日本NPOセンター協働事業「タケダ・いのちと暮らし再生プログラム」の助成を受けて実施しています。